

多摩

No. 8

念仏の声を世界に子や孫に

組報 多摩 No. 8

発行日 2008年10月1日

浄土真宗本願寺派

東京教区 多摩組

事務所/圓福寺内

東京都調布市国領町1-10-11

〒182-0022 TEL042-482-7955

<http://www33.ocn.ne.jp/~tamaso/>にじ かけ ぼう
虹を翔るお坊さん「TOKYO BOUZ COLLECTION」

「虹を翔るお坊さん」
それはいったい何だ？
「東京ボーズコレクション」
それはいったい何だ？

昨年十二月十五日、築地本願寺において、それは開催されました。



すべての人間、あらゆるいのち、あまねく存在が意識するしないにかかわらず「縁」という絆で結ばれている。それが仏教の出発点です。宗派を超え、僧俗を超えて、苦しみや悩みを超えて行く道を求め、ともに繋がって生きることを具体的に実感することができるものになりたい。インドから発生した仏教は、国境を超え、山河を超えて日本に渡ってきました。その様子はまさに空に

かかる虹のようです。色々な色を持つ仏教という虹に、人々は救いを求め、安らぎを感じ、生きる希望を持ちました。その虹をかける役割を持ったのが、僧侶＝お坊さんです。この日本社会の人々に、そして世界の国々に仏教という美しい虹をかけていくことを目指し、仏教とのご縁をもつイベントを企画しました。（開催趣旨）

写真は、天台宗・真言宗・浄土宗・浄土真宗・曹洞宗・臨済宗・日蓮宗の各宗派の僧侶有志による法要の様子。その他永六輔氏の講演、歎異

抄入門講座、座禅・写経・写仏などのプチ修行。歌と詩のライブパフォーマンスなど、様々なイベントが行われました。

新門さま
築地別院副住職にご就任



本年四月一日付で、大谷光淳新門さまが本願寺築地別院（築地本願寺）の副住職にご就任されました。
今後は、首都圏伝道の先頭に立たれ、ご教導を頂きます。
八月に行われた、多摩組サマーキャンプの開会式にご臨席を賜り、お言葉を頂きました。

多摩組仏教壮年会連盟理事長
就任の挨拶



野田和義氏
多摩組仏教壮年会理事長
(誓願寺門徒)

この度多摩組仏教壮年会連盟の理事長をおおせつかりました八王子誓願寺門徒の野田和義でございます。
理事長と云う大役をおおせつかり、戸惑いと不安一杯でございますが、多摩組仏教壮年会連盟が本願寺の仏教壮年会連盟に登録をされた記念の年にあたり、精一杯つとめさせていただきます。皆様のご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



「総代・世話人研修会」について

多摩組総代世話人研修会門徒代表

西川 進

本年度は組役員と相談の上、十二月六日（土）に開催致します。
研修主題は、「私のお寺を語る」です。
それは私達総代・世話人は常々各自のお寺で住職に協力しながらみ教えを中心に色々な行事を通じて、お寺が良くなる様に考えて行動しておりますが、その中で、これで良いのか、よそのお寺ではどんな事をやっているのか、もっと良いものがあれば是非参考にしたり取り上げたい、等々の声があり、今回の研修主題を「私のお寺を語る」といたしました。
組のお寺の中から「私のお寺自慢」的ニユアンスで、ご自分のお寺の成り立ちや概要、現在の様子、活動や行事、更に特徴や紹介したい門徒などを語って頂き、その後で質疑をする形式で実施したいと思っております。これにより、今まであまり交流のなかった組内の他のお寺やその動きがわかり、その中で良いものがあれば取り入れる事や、更にお寺の所在や歴史と内容、ご住職とそこご家族などのPRもはかれて一層の親密度も増し面白い研修会になるのではと思っております。
尚、開催に当たってはいつも通り、組内の総代・世話人有志の方々による実行委員会を立ちあげ、色々なご意見を頂きながらスムーズな研修会の開催にしたいと考えております。

マニラ「俱会一处」の墓から見えてくるもの

延浄寺住職 網 代 正 孝

マニラ空港の近くに「俱会一处」の墓がある。五年前、多摩組清風会の有志の皆さんが建碑式を行なった。

マニラには困窮邦人が多く、亡くなった時もお骨の引取手がない。そんな方に役立てていただくためのお墓である。

マニラ日系人会が管理しているが、現在困窮邦人ではないが、長年マニラに住んでいた学芸員の日向博美さんの分骨が納められている。

日向さんは蝶の研究家で、日本の元法務大臣が蝶観察のためフィリピンにこられた時、ガイドをされたが、日向さんのカーボン捕蝶網が高圧線に触れ、それが因で亡くなってしまった。奥さんはフィリピン人、フィリピンを愛し、フィリピンでの事業半ばで逝ってしまった日向さんの無念の思いが、マニラを一望する丘の上の墓にある。

マニラへ行く機会があれば、山際から着陸するときA席窓際であれば公園墓地が手に取るように見える。清風会の「俱会一处」はそこにある。

日向さんの長女は「日比の新しい架け橋をつくる」父の意志を継ぎ、当協会にきて日本の大学で勉強中であるが、勉強をしたくてもできない極貧の日比混血児がフィリピンには数万人いる。日比の新しい社会問題になりつつあるが、極めてプライベイトの問題なので支援も難しい。

私はセブでこの問題に取り組んでいるSNN（新日系人ネットワーク）の岡昭代表と連携しながら、学資支援の里親制度を行なっている。

読者の皆さんが里親になって頂ければ大変ありがたいと思う。

お願いしたいと思う。

フィリピン人は幽霊の話がとても好きである。私は今、崩れかけた慰霊碑を修復している。

これらに手を付けると、必ずといってよいほど「お化け」の話がついてくる。

修復は、フィリピン中部のパナイ島の山の中の「日本人の母と子の集団自決」の碑。三十年以上前の碑で、山の斜面に出来ているため崩れかかっている。

この近くはフィリピンゲリラと住民が何千人も虐殺された場所で、ここは「何かがでる」と住民達も恐れて近づかない。周りには深い竹藪、竹のすりあう音にまじり、泣き声・叫び声がするという。

二月に慰霊碑に手を付けるといったら、多数の住民が血相を変えて集まってきた。手をついたら恐ろしいことになるという。

私は咄嗟に「日比の平和と友好のために造り直すのだ。故人も喜ぶはずだ。」と話したら、急にお祈りが始まり安心して見詰めてくれた。

フィリピンでは戦争の悲劇も事実として

残さず、お化けの話にすり変わって身近に残る。このあたりが文化の違いなのではないか、でも決して忘れることはない。

六十数年前、日米比の戦争で多くの犠牲者がでた。ところが戦争で失われた「いのち」を語る資料はほとんど残っていない。

パナイ島イロイロ市での悲劇を「資料として残せ」という不思議な声に後ろを押され、今イロイロ日系人会館の敷地内に、来年三月完成を目指し小さい資料館を建設中です。一口五万円の浄財も集めています。

寄付をいただいた方のお名前は、フィリピンパナイ島戦争資料館の銘板に刻字し、後世に伝えます。

「俱会一处」の墓地からいろいろな話題になりましたが、来年三月できれば現地にお出かけください。ご案内いたします。



マニラ「俱会一处」の墓

問い合わせ
NPO法人 日本フィリピンボランティア協会
会長 網 代 正 孝（延浄寺住職）
☎03-5384-9536

仏教壮年会

多摩組仏教壮年会が 連盟登録されました

理事長 野田 和義

多摩組仏教壮年会は、本年四月一日に宗派の仏教壮年会連盟に単位登録されました。これにより、各寺院の仏教壮年会があり、多摩組の仏教壮年会があり、東京教区の仏教壮年会があり、宗派の仏教壮年会連盟があることになり、今後の活発な活動が期待されることとなります。

東京教区仏教壮年会連盟結成記念日研修会

本年、二月十六日～十七日の一泊二日、神奈川県横須賀市のホテルトリニティ横須賀において、東京教区仏教壮年会連盟結成記念日研修会が開催されました。担当は三浦組で、参加者は約二七六名。
次回は、平成二十一年二月二十一日～二十二日。担当は群馬組で、伊香保温泉を予定しています。

多摩組仏教壮年会の活動

七月六日明西寺で第一回の理事会が開かれ本年の研修が決定されました。
多摩組の寺院研修を二カ年計画で予定いたします。同じ多摩組にありながら各寺院をよく知らず、また、その活動もわからないため、各寺院を巡り研修を行い、自分のお寺の活性化につなげようというもので

す。

一カ寺目は、十月四日、調布市国領の圓福寺さんを予定しています。二カ寺目は、明年一月頃、八王子の誓願寺さんを予定しています。また、多摩組連続研修会と多摩組仏教壮年会の合同研修会が、十月十一日午後二時より調布市の正善寺さんにおいて行われます。

仏教壮年会では、研修会を含めていろいろな行事や活動が予定されておりますので、ぜひ各寺院のご住職さまへお尋ねいただき、どんどんご参加下さい。

仏壮新規設立寺院の紹介

延立寺（八王子） 仏教壮年会

延立寺仏壮 西川 進

当寺の仏教壮年会の発足は平成十九年十月ですが、そのきっかけは門信徒の方々に対する「お寺の行事や設備などに関するアンケート」でした。その結果の改善策として、既にある婦人会と連係して対応活動の出来る壮年組織の必要性が生じ、十九年一月の役員会において壮年会発足について了承されました。

これを受けて、同年五月の降誕会の際に「自主活動組織としての仏教壮年会」を立ち上げ、門信徒の一層の親睦と交流、寺の基盤の強化、地域社会との交流、積極的な宗門活動への取組み等を掲げて入会を呼び掛け、更に寺報上でもPRをしました。

その結果二十四名の方々の参加を得て準備会を設立し、門信徒会とも連係を計りながら活動方向、今後の日程、会則、役員などを決め、同年十月二十一日に創立総会を開催し、正式に発足致しました。

尚、総会において、すぐの十一月にまず第一回の親睦交流ハイキングが紅葉の高尾山に決まるなど、大変和やかに進みました。

その後、年末の「すす払い」「餅つき大会」を婦人会と合同で実施、これも家族連れで賑わい平成二十年に入り会員数も二十九名に増え、月例会、築地別院の「平和を語る」への参加、親睦お花見会、恒例の旅行会、清掃会、暑気払い親睦会等々決められた各行事、活動も両会が中心になって実施しおおむね順調に推移しております。

今は門信徒の皆さんがお寺を中心に仲間と語り合いながら、生き生きと豊かな信仰の毎日を送っている姿が見えてきて、壮年会活動の実りを感じております。



第1回の親睦交流ハイキング
紅葉の高尾山

仏教婦人会

スローガン決まる

「念仏に生かされるよろこびを行動へ」

東京教区仏教婦人会連盟多摩組代表

横田 義子

本年四月十九日、仏教婦人会総連盟（京都本山）の総会において、新しいスローガンが発表されました。そのスローガンは、「念仏に生かされるよろこびを行動へ」というものでした。

このスローガンは、仏教婦人としての行動のあり方を示すものであり、念仏のみ教えによって私の命の尊さにめざめるとともに、ひとりひとりがそれぞれの「いのち」を尊重し、数々の課題に力強く向きあいのりこえながら、ともに浄土への道を歩む姿を表現しています。

今までの総連盟のスローガンは、昭和四十九年に掲げられた「仏教婦人としての自覚をあらたにし、行動ある聞法者になろう」でした。その後、平成元年に「仏教婦人として行動ある聞法者になろう」に改定されましたが、このたび三十四年ぶりに大きく変更となりました。

東京教区仏教婦人会連盟では、五月二十二日の総会において、平成二十年度の行事計画が決まり、新たなスローガンの発表を受けて、一同決意を新たにいたしました。

仏教婦人会の活動

五月四日から五日、東京教区仏教婦人会連盟の委員一泊研修会が、山梨県河口湖方面において開催されました。都留組如来寺（富士吉田市）を参拝し、婦人部の手作り昼食をいただき、親睦を深めることができました。また、近くの親鸞聖人のお堂を参拝し、翌日は法正寺（甲州市）へ参拝いたしました。

九月三日より四日には、一泊研修会を栃木県日光市の鬼怒川グランドホテルにおいて、仏教活動の活性化、私の基幹運動をテーマに、講師藤井邦麿師、南莊乗宏師のお話を伺いました。

平成二十一年三月二日、築地本願寺において仏教婦人会の一日研修会が予定されており、昨年は九三二名もの参加者をしていただき、本年も企画がちやくちやくと進行しております。

また、三月二十八日には、若婦人の集いが開催予定です。講師には、遠山章信師をお迎えして、ご法話をいただく予定です。

仏教婦人会の行事には、お友達やお嫁さんをお誘いいただき、一人でも多くの方のご参加をいただきますようお願いいたします。

また、より素晴らしい仏教婦人会の活動を推進するために、婦人会組織の結成と教区への登録を切に願っております。

門徒推進員連絡協議会の活動

門徒推進員 佐藤重昭

平成十九年度より多摩組基幹運動推進委員会の一組織として発足した「門徒推進員連絡協議会」は、門徒推進員の研鑽と相互の活動・情報交換など約月一回のペースで活動し、今年あらたに足立剛行様（圓成寺門徒）・井上義次様（圓成寺門徒）・熊沢邦宏様（覺證寺門徒）・村田清治様（圓成寺門徒）をお迎えし、現在九名の門徒推進員で構成されています。

今年度は、昨年度に引き続き門徒推進員の自主的な学習会を実施しております。

学習の教材は「歎異抄」とし、参加者が持ち回り講師として、門徒推進委員に限らず、趣旨にご賛同の方のご出席を頂き話し合い形式で行っております。

「門徒推進員」は、親鸞聖人のみ教えに学び、その教えに生きる喜びと自覚をもつて、寺院の教化組織、組・教区の基幹運動推進委員会とともに基幹運動を推進する役割を担い、多摩組連続研修会の企画・運営についてお手伝いしていく予定です。



多摩組門徒子弟研修会

たまそ サマーキャンプ in ふじ

新門さま 開会式にご臨席

今年も多摩組寺院の門徒子弟を中心とするサマーキャンプが、八月七日から八日の一泊二日で、静岡県朝霧高原の「ふもとつぱら」を会場に行われました。

参加者は子供四十二名スタッフ三十名の計七十二名。《自然と親しみながら「いのちの大切さ」を考える◇手を合わせる心、感謝の心を養う◇》をテーマに、楽しく充実した二日間を過ごしました。

一日目は、調布市の圓福寺さんに集合し、開会式を行いました。開会式では、初めて新門様のご臨席を賜り、讃仏偈のお勤めの後、お言葉をいただきました。その後、貸し切りバスで一路富士山を目指し、「ふもとつぱら」に到着。班長・班名を決めたあと、「ふもとつぱら」探検・バーベキュー・キャンプファイヤーと自然の中で目いっぱい楽しみました。

二日目は、草原に阿弥陀さまを迎えて、「おあさじ」から始まりました。子供の代表が導師をつとめ、延立寺松本先生より「いのち」のお話しをいただきました。それから広大な敷地のゴミ拾いをしながらクヌギ林に向かい、カブトムシ・クワガタ探し。クラフトで作った「アローヘリコプタ

ー」の飛ばし大会など、楽しく遊び、「ふもとつぱら」の皆さんに、お礼と感謝の気持ちをみなで言って、閉会式会場の圓福寺さんへ戻りました。

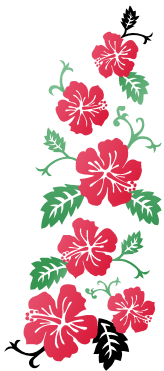
閉会式では、子供の代表が導師でお勤めの後、修了証の授与。来年もまた会おうねと約束しながら、子供たちを保護者のお手元にお返しいたしました。

お寺の阿弥陀さまの前で始まり、阿弥陀さまの前で終わる、十三回目となるサマーキャンプを無事終えることができました。

友が友を呼ぶという広がりを見せており、参加した子供たちが、みなお寺にご縁のある子ばかりではありません。門徒子弟という枠を超えて、続けられてきたことは、素晴らしいことだと思います。

また、学生スタッフには、小学生から参加してきて、引き続きスタッフとしてお手伝いに来てくれている人もいます。歴史と継続の大切さを感じることです。

なお、「サマーキャンプ」を多摩組の一の大きな行事として行うにあたり、各寺院のご住職、関係者の皆様のお力、また、中ブロッックのご住職方のご協力のおかげをもちまして、無事終わることができましたことを感謝し、ご報告申し上げます。（内手）



「ふもとつぱら」に全員集合

住職に聞きました

お寺を訪ねて

延立寺(八王子市犬目町)

今回お訪ねした延立寺は、かつては桑都と美称された養蚕・織物の町として栄え、現在は人口五十四万人の多摩地区の中核都市として、二十一の大学等を抱えた学園都市として、発展を続けている八王子市の郊外に位置し、京王八王子駅(又はJR八王子駅)よりサマーランド行きバスに乗り約二十分。谷戸バス停近くの小高い場所にあります。



松本智量住職をはさんで、坊守様(右)と前坊守様(左)

境内の入り口には仏社の会員が寄贈した大きな藤棚があり、お寺全体は濃い緑の木々に囲まれ、裏手にある墓地も雛壇の形式になっておりました。植栽もこまめに手入れがされており、別天地の様な気持ちさえ致しました。本堂や墓地からの眺望も素晴らしいものがあります。

ご住職のお話ではお寺で賄っている水は全部井戸水だそうで、ご門徒方からも水が大変美味しいと好評だそうです。

松寿山延立寺は、一六三一(寛永八)年長州萩の庄に創建、一六八二(天和二)年武蔵野国豊島郡柴井町に移転建立、一七三〇(享保一五)年現在の東京都港区三田に移転、一九七二(昭和四七)年前住職の時代に当地に移転し、一九八三(昭和五八)年第十三世・釋智量師が龍谷大学文学部ご卒業と同時に住職継職し現在に至っております。

ご住職は、自寺の他に多くの団体の役員も引き受けられておられます。

その中でも特筆すべきものは、週三回は築地本願寺に勤め「浄土真宗本願寺派東京教区基幹運動推進相談員」としての活動、「NPOアーユス仏教国際協力ネットワーク事務局長」として宗派を超えて幅広く活動されており、『行動する仏教』を標榜として多方面に活躍されておられます。

私たちが訪問した七月二十八日は、常例の法話会(第四月曜日)が行われており一緒に勤行・聴聞させていただきましたが、本堂いっぱい熱気が伝わっておいしかったです。前坊守の言によれば、寺基の移転時にはす

べてのご門徒が三田から当地に一緒に移ってこられ、そして新しくご縁をいただいた多くの方々ともども、行事ごとに満堂となり、報恩講、永代経には正信偈のご唱和音が荘厳な響きとなって本堂外迄聞こえるとのことでもあります。

お寺では寺報を年四回発行されております。ご門徒の方が興味を持つように「ポピンズ」という寺報名にしたとのことですが、毎回坊守さんが執筆される『坊守日誌』が大好評で、ご住職が執筆されている記事はいつも後回しにされていると苦笑されておられました。

十年前に発足した「仏教婦人会」、昨年十一月に発足した「仏教壮年会」とも自主的に会合を開いて色々な活動を行っています。一泊旅行、花見会、餅つき大会、ハイキング、境内の環境整備、変わったところでは仏婦でフラダンスの練習を行っていて、年に何回かはお寺以外でもご披露をされており大変好評だそうです。

これらの活動はすべて松本ご住職のお考えが浸透し、「お寺は住職がいなくても私のお寺」として親しみやすく、気軽に、開かれたお寺として浄土真宗のみ教えが当地に根付いている様子が伺えました。

これから松本ご住職のますますのご活躍とお寺の発展を念じながら、延立寺をあとにしました。
(麻木・辻・佐藤)

西本願寺（京都・本山）

〒600-8501 京都市下京区堀川通花屋町下ル本願寺門前町

電話 075(371)5181

FAX 075(351)1211

本願寺築地別院（築地本願寺）・東京教区教務所

〒104-8435 東京都中央区築地3丁目1番1号

築地別院電話 03(3541)1131

教務所電話 03(3541)1666

東京教区多摩組寺院所在地

調布市

光徳寺（こうとくじ）〒182-0003
調布市若葉町1-38-27
TEL03(3300)6431 FAX03(5384)3344
(法座：不定期 お問い合わせ下さい)

明西寺（みょうさいじ）〒182-0003
調布市若葉町1-43-5
TEL03(3300)1901 FAX03(3300)2681
(法座：10日前後婦人会 1.4.8月壮年会)

延浄寺（えんじょうじ）〒182-0006
調布市つつじが丘2-30-1
TEL03(3326)7337 FAX03(3326)5037
(法座：不定期 相談日第1日曜日午後予約)

長専寺（ちょうせんじ）〒182-0033
調布市富士見町1-35-4
TEL042(482)3411 FAX042(498)1105
(法座：不定期)

西照寺（さいしょうじ）〒182-0003
調布市若葉町1-39
TEL03(3300)7734 FAX03(3300)7794
(法座：毎月8日・第4土曜 親鸞会)

光西寺（こうさいじ）〒182-0003
調布市若葉町1-44-2
TEL03(3300)5054 FAX 同 左
(法座：不定期)

光源寺（こうげんじ）〒182-0006
調布市西つつじが丘2-30-11
TEL03(3300)0881 FAX03(3308)6289
(法座：隔月奇数月 お問い合わせ下さい)

覺證寺（かくしょうじ）〒182-0033
調布市富士見町1-35-4
TEL042(482)5556 FAX042(480)0166
(法座：第1土曜日)

正善寺（しょうぜんじ）〒182-0003
調布市若葉町1-42-5
TEL03(3300)6064 FAX03(3300)6687
(法座：第1日曜日（1日なら8日）)

安養寺（あんようじ）〒182-0003
調布市若葉町1-44-5
TEL03(3307)5605 FAX03(3307)5496
(法座：第1日曜日)

圓福寺（えんぶくじ）〒182-0022
調布市国領町1-10-11
TEL042(482)7955 FAX042(481)4734
(法座：不定期)

国立市

應善寺（おうぜんじ）〒186-0002
国立市東2-2-1
TEL042(572)0043 FAX042(572)0148
(法座：毎月1日・16日)

立川市

光西寺（こうさいじ）〒190-0021
立川市羽衣町3-20-16
TEL042(522)3413 <http://www.kousaiji.com/>
(法座：毎週金曜晚又は土曜昼 各種仏教講座)

小平市

照恩寺（しょうおんじ）〒187-0041
小平市美園町3-23-20
TEL042(341)2935 FAX042(347)4122
(法座：毎月13日・第1土曜・第4土曜)

青梅市

浄弘寺（じょうこうじ）〒198-0036
青梅市河辺町8-19-8
TEL0428(32)1769 FAX0428(32)2010
(法座：第3土曜日)

八王子市

専念寺（せんねんじ）〒192-0063
八王子市元横山町2-14-24
TEL042(644)3491 FAX042(648)6087
(法座：隔月1回 お問い合わせ下さい)

誓願寺（せいがんじ）〒193-0816
八王子市大楽寺町209-5
TEL042(651)0073 FAX042(651)6183
(法座：第3木曜日・毎月10日大楽会)

光照寺（こうしょうじ）〒192-0912
八王子市絹ヶ丘3-8-1
TEL042(635)3754 FAX 同 左
(法座：不定期)

本光寺（ほんこうじ）〒1923-0832
八王子市散田町4-40-10
TEL042(664)2196 FAX042(663)2501
(法座：不定期 お問い合わせ下さい)

延立寺（えんりゅうじ）〒193-0802
八王子市犬目町681
TEL042(654)2429 FAX042(654)6930
(法座：第4月曜日)

大恩寺（だいおんじ）〒193-0943
八王子市寺田町1085
TEL042(668)0889 FAX042(668)1825
(法座：第2土曜・第4日曜・第1土曜（婦人会）)

町田市

圓成寺（えんじょうじ）〒194-0004
町田市鶴間1210
TEL042(795)0181 FAX042(795)0444
(法座：毎月28日)

圓成寺出張所（えんじょうじ）〒194-0035
町田市忠生3-24-13
TEL042(792)3007 FAX042(792)3006
(法座：毎月10日 休日なら翌日)

町田布教所（まちだふきょうしょ）〒195-0063
町田市野津田町2534-20
TEL042(737)3236 FAX 同 左
(法座：第2土曜・23日前後の平日)

多摩市

阿弥陀寺（あみだじ）〒206-0013
多摩市桜ヶ丘1-24-2
TEL042(375)8055 FAX042(337)4889
(法座：年3回・毎月28日 明宝会)

稲城市

玄忠寺（げんちゅうじ）〒206-0822
稲城市坂浜878-6
TEL042(331)3655 FAX042(331)3511
(法座：第3日曜日)

（法座へお出かけの折には、必ず電話にて日時をご確認の上、お出かけ下さい。）